市電從業員の待遇

豫善の紛議解決

公休短縮其他は撤回す

横濱市電氣局の從業員が結束して去る四月七日待遇の改善に關して私かに會合を爲し青木電氣局長に對し最高日給一圓七十錢を二圓に昇給すること十日目に一日の公休を八日目にすること住宅を給せられざる者には舍宅を給し若し與へられざるに於ては相當の住宅料を給與すること等十二ケ條の要求案を提示して其實行を迫り或は示威的態度に出づるなきやと報じたるが右に付き青木局長は十八日午後五時頃の事務局へ從業員を代表せる廿一名の組長を召集し此内の代表者として田中石五郎、矢島義一、宮田吉春、渡邊清二郎の四名を召致し局長之を引見して

懇談的 の態度にて局長は今回の要求を余の手許迄提出したるは余を諸君の相談役として諸君の要求が理由充分なるや否やの批評を求め理由あるものは其れが實行を希望せんとするものと思ふ故に余は此意味に於て先づ諸君の相談役の心得を以て腹蔵無き批判を試みやうと前提して

横濱市 電としては遽に會社時代に於てストライキの爲に諸君の待遇を改め收支の均衡を失するに至りて乘車賃金の値上を申請したるも其盛買收となり司時に乘車賃金を値上したるものにて此增收に依り今度は電車の改良に軌道の改修に線路の擴張に資すべき幾多の事業を有す市民の高率なる乘車賃金に甘んずるは此の改良擴張を希望するが爲に外ならず然るに偖りに要求の全部を容るゝが如としては其の費用を計算するに合計

拾四萬 圓位を要し如斯巨額は到底豫算の許さゞるところにして豫算に計上せられたる改良計畫の費用を剪りて迄待遇に資すること能はざるは諸君が克く諒解せざるべからざる所なりとす故に待遇の向上を計るは豫算に比し增收ありたる場合一定の範圍内に於て望み得べきことなり會社時代に於ては株主さへ我慢すれば配當を減じて諸君に與ふることを得たるも市になりては其

經常費 が公債の利子を初めどうしても支拂はざるべからざるものなるが故に到底一時に十四五万圓を捻取し得べき程度のものにあらず 幸に本年は四月に入りて大なる增收あり固より博覽會の影響等もあるべく之を以て當時の收入とするを得ざるも今後增收確實なるに至らば其程度に應じ待遇を改むる

資源と せんと欲するは諸君の要求を待たずして夙に計畫せるところなり差當り左記事項の如きは正當の理由あることにして又豫算の範圍内に於ても實行し得べしと認めらるゝが故に市長の決裁を經るの手續きを採らんと欲す

一、公休短縮 諸君の要求に於て改めしとするものなるも車掌、運轉手の如き激務に在るものは尚之を以て充分なりとは認められず社會の大勢に伴ひ週休制度に依り七日目公休にしたしと思ふ然し日曜日は常に乗客多數なれば週休制度の實行に依り事業上重大なる關係あるに付尚研究することゝし少くとも八日目公休は實行すること

二、公休日 には給料を支給するを原則とす公休日の前後を通じて缺勤したるものに限り公休日を取消し其他の場合は總て給料を支給すること

三、被服 は總て貸與制を改めて給與制とすること但し之れが爲に生ずる處ある弊害假へば古服を着用して新品を他に貸與し又買却する等の防止策に付ては各組員の自治制に待つこと大なり又途中就職、退職、轉職者に對する給與、戻入等に關し組長自ら成案を提出すること外套着用期間を一箇年に短縮することは來年度の豫算に計上する意圖を有す當分の内一箇年を經過して破損甚しきものは新品と交換すること

四、慰安會 は成るべく年二回之を行はん考なり但し之れが實行に關しては業務上に支障を及ぼさず又各自の過勞に陷らざる範圍に於て而も多數の希望する慰安の方法を選ぶ必要あり此點に於て交通事業にあるものゝ豫め困難を思はざるべからざるところなり依て之れが實行方法に關し組長自ら成案を提出すること

五、組員章 佩用に關しては標章を附し一見して某は何組に屬するやを明瞭ならしむること豫備員は右組番號を附せず單に車又は運とすること

六、組長定例會 は毎月開催する迄の事項なしと認むるに付當分の内隔月一回運轉課長召集の下に定例會議を行ふこと但し組長は當日常務に服することを要せざるものとす

七、乘務時間 算定に關する件は スタフに示されたる最長の時間を標準とすることに全區間に亘り適當の改正を行ふこと

八、精勤休暇 を增加し賞與五圓を受くる場合は三日間十圓を受くる場合は四日の休暇を附し一年を通じ最初は七日間次年は八日間連續して休暇し得べき制度に改むること

前記以外の日給値上住宅料補助の如きは巨額の支出となり殊に住宅料補助の如きは偶過般現業員住宅數戸落成し其居住の點こゝに一致するものゝ多きなるべく抑現業員住宅の

建設は 從業員中多數の家族を擁し住宅なくして非常に困難に陥れる目下の狀態を救濟し一方車庫所在地に適當數の居住者を得んとする趣旨に依り相當の家賃を以て居住せしむるに過ぎずして一般に住宅を供給するの趣旨に非ず固より一般現業員にして希望者は物議に與ることを得るものなり但此方法に依るときは前記の趣旨を沒却し

獨身者 却つて住宅を受くるが如き結果を生ずるが故に家族數の多少現に居住せる市内の家賃の高下現住地の關係等慎重なる考慮の下に指定居住せしめたるものにして偶比較的其資格に乏しく之れが選に洩れたりとて既を大にして要求事項中に加へたるが如きは一般從業員の名譽のため甚だ遺憾とするところなり云々と以上の說示により市長の

決裁を 經て實行し得べしと認むる公休短縮外七項を除き其他の撤廢は組長より之を撤回するを諾り代表組長は一旦退いて全員の組長に局長の意を傳へ總て之を承認することとなり斯くて市電從業員の待遇改善の叫びは全く圓滿なる解決を告ぐるに至れり

絹業盟休續行

福井組合再協議

福井絹物組合には絹業不振の對應策として四月十六日より三十日迄十五日間總同盟休業を決議し日下實行中の處偶〻市價恢復するや盟休決議に違反するもの無出し完全なる盟休は至難の狀況に立ち至りたので組合に於ては善後策に就て二十二日組合臨時總會を開き協議したが此際義を可とするものと飽迄反抗して盟休の敢行を期するものとに論議二派に分れ容易に解決すべくもなかつたが結局日下の狀況に鑑みて盟休を續行すべしと迄行する事に決し是が實行方法として評議員代議員を特別實行委員に擧げ之を第四班に分ち嚴重なる監視に依つて實行するの決議をした旨横濱に入電があつた（横濱電話）

勞働總同盟

應援せん

山東鐵道問題で山東鐵道從業員二千名が華盛頓會議の結果に基き不日解雇せらるゝを豫期し一大運動を開始した事は既報の如くだが十九日山東鐵道青島工場の某幹部より日本勞働總同盟大阪聯合會西尾主事宛て詳細の報告書が到着した、それに依ると解散豫想の不安に對し會社は何等の保證聲明をなさず剩へ解散の形式を回避し淘汰減員求職等の名により少額の餞金ですまさうとする模樣なので從業員の不安は絶頂に達し遂に三千名の結束となり爭議團は「協力一致」「秩序整然」「初志貫徹」の三つを標語として當局に迫る事となつたのであると

尚總同盟でも何等かの方法で之を應援すると

尾小屋鑛山の

爭議未解決

石川縣能美郡尾小屋鑛山坑夫千五百名中採掘部五十名の同盟罷業は坑夫側の結果が鞏固で未だ解決せず二十日午前來山した全日本坑夫聯合會阪口理事は直に坑夫側代表と接觸を開始し全山の空氣は頓に緊張してゐる坑夫側の要求は

最低賃銀を二圓とすること▲採鑛探鑛の差別撤廢▲從前の坑夫等級を廢し一般平等とすること▲その他遺族扶助料、慰勞金、解雇手當等十項目を擧げてゐる（金澤來電）

尾小屋鑛山

同盟休業

側の態度

強硬で紛擾中

金澤市大手町男爵横山隆俊氏の經營に係る石川縣能美郡尾小屋鑛山の坑夫千五百名は從來賃金一人當り一圓に付き一圓八十錢を二圓と引上ぐべき事を横山家に要求して居たが横山家では最近鑛山不振の今日月給値上げは出來ないと斷然拒絶したので慎重なる坑夫は十七日同盟休業を斷行し提出の要求容られざる時は就業せずと敦圍き居る由理事及び大阪より坂口鑛山聯合より十九日東京より荻原の兩氏尾小屋に出張して調停に努めつゝあるが坑夫の勢ひ當り難く目下紛擾を極めて居る（金澤電報）

尾小屋銅山

罷業擴大す

改めて要求提出

石川縣能美郡尾小屋銅山の罷業は漸次擴大され二十日には罷業者五百名に達し目的を達する迄は執れも隣近の道路工事其他に赴はれて糊口の途を求むるなこと揚言し

鐵工所閉業と

哀れな職工連

古河町字[illegible]佐藤[illegible]今回閉業を聞止し本居なる東京に引揚る事となり從來使役しつゝある五十餘名の職工等に二三日前夫々通告したるが之れが原因は今回閉鎖所が修理場となるは必定にて他所の高價を月越し是迄毎月に六錢を四月一日より十五錢となしたるより工場主等は驚きさなきだに營業不振の折柄斯くの如き高價なる地代にては全く其支出に苦しむ事となり本店に引揚げ業務を縮小するものなりと云ふが結局解雇せられたる五十餘名の職工等は途方に暮れ居れりと云ふ

差結束を固めて持久策を執つて居る

來山中の日本坑夫聯合會坂口理事は二十、二十一日の南日中代表者等と相首協議し要求事項十箇條を更に取捨して最後の意見を纏め多分二十二日中に同理事之を携へ歸阪する筈なりと

金澤に來り横山鑛業に對し交渉を開始する筈なりとの形勢は如上の通りなるが目下の狀況は一注目に値すべく大阪鑛務署の鑛業警察官外一名狀況視察の爲十九日來山した（金澤電話）